

浅間山の火山活動（2009年10月～12月）* Volcanic Activity of Asamayama (From October to December 2009)

気象庁地震火山部火山課
火山監視・情報センター
Volcanological Division, JMA
Volcanic Observations and Information Center

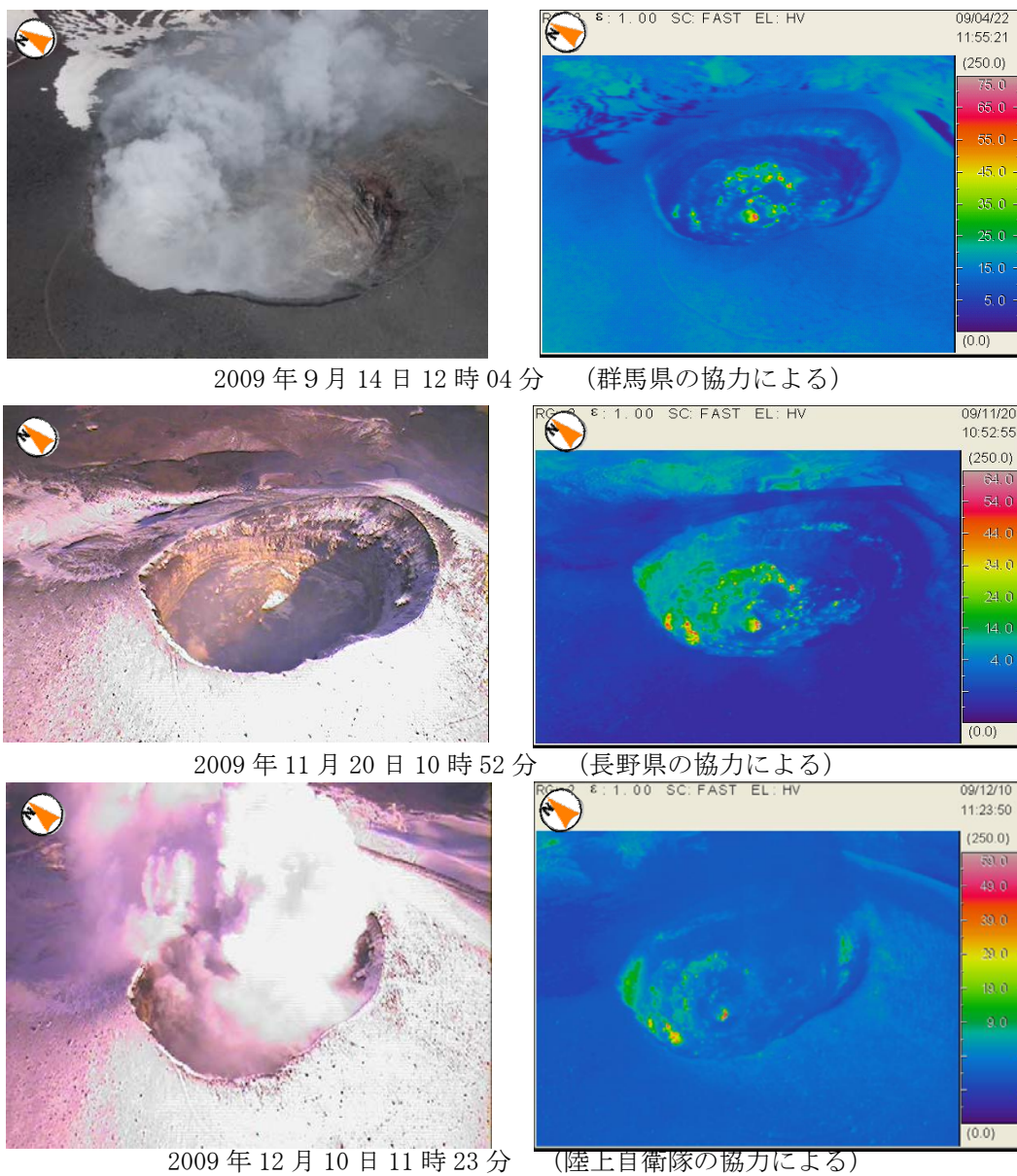
- ・噴煙活動（第1図、第2図、第3図[※]-①②、第4図-①②）
山頂火口からの噴煙量は4月以降大きな変化はなくやや多い状態が続き、噴煙高度は火口縁上100～300mで推移した。
- ・火山ガス（第3図[※]-③）
10月以降に行った現地調査では、山頂火口からの放出量は一日あたり300～2,100トンと、2008年7月以前の状態と比べ引き続き多い状態で推移している。
- ・熱活動（第2図、第3図[※]-④）
2009年4月3日以降、高感度カメラによる火映は観測されていない。
11月20日（長野県の協力による）及び12月10日（陸上自衛隊の協力による）に上空から実施した山頂火口内の地表面温度観測では、火口底中央部とその周辺に、2009年9月14日（群馬県の協力による）と同様の高温領域が引き続き観測された。
- ・地震活動（第3図[※]-⑤⑥⑦⑧、第4図[※]-③④、第5図[※]）
10月以降も火山性地震の多い状態が続いている。発生した地震の多くはB L型地震で、これまで同様、山頂火口直下のごく浅い所で発生したと推定される。A型地震の震源分布にも特段の変化はみられない。また、震源の浅部への移動等の変化もみられない。
2月2日の噴火前にみられたB H型地震の増加はみられない。
火山性微動は月数回程度発生したが、いずれも振幅は小さく、継続時間の短いものであった。
- ・地殻変動（第3図[※]-⑨⑩、第8図）
山体周辺のGPS連続観測では、2008年7月初め頃からみられていた深部へのマグマの注入を示す伸びの傾向は、2009年7月頃から鈍化し、11月頃から停滞している。光波測距観測では、顕著な変化はみられていない。
傾斜観測による、火口直下浅部へのマグマ上昇を示すような変化はみられていない。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土交通省利根川水系砂防事務所、東京大学及び独立行政法人産業技術総合研究所のデータを利用して作成した。



第1図 浅間山 山頂部の噴煙の状況 (12月25日、鬼押し出しカメラによる)

Fig.1 Visible image of Asamayama on May 3, 2009.



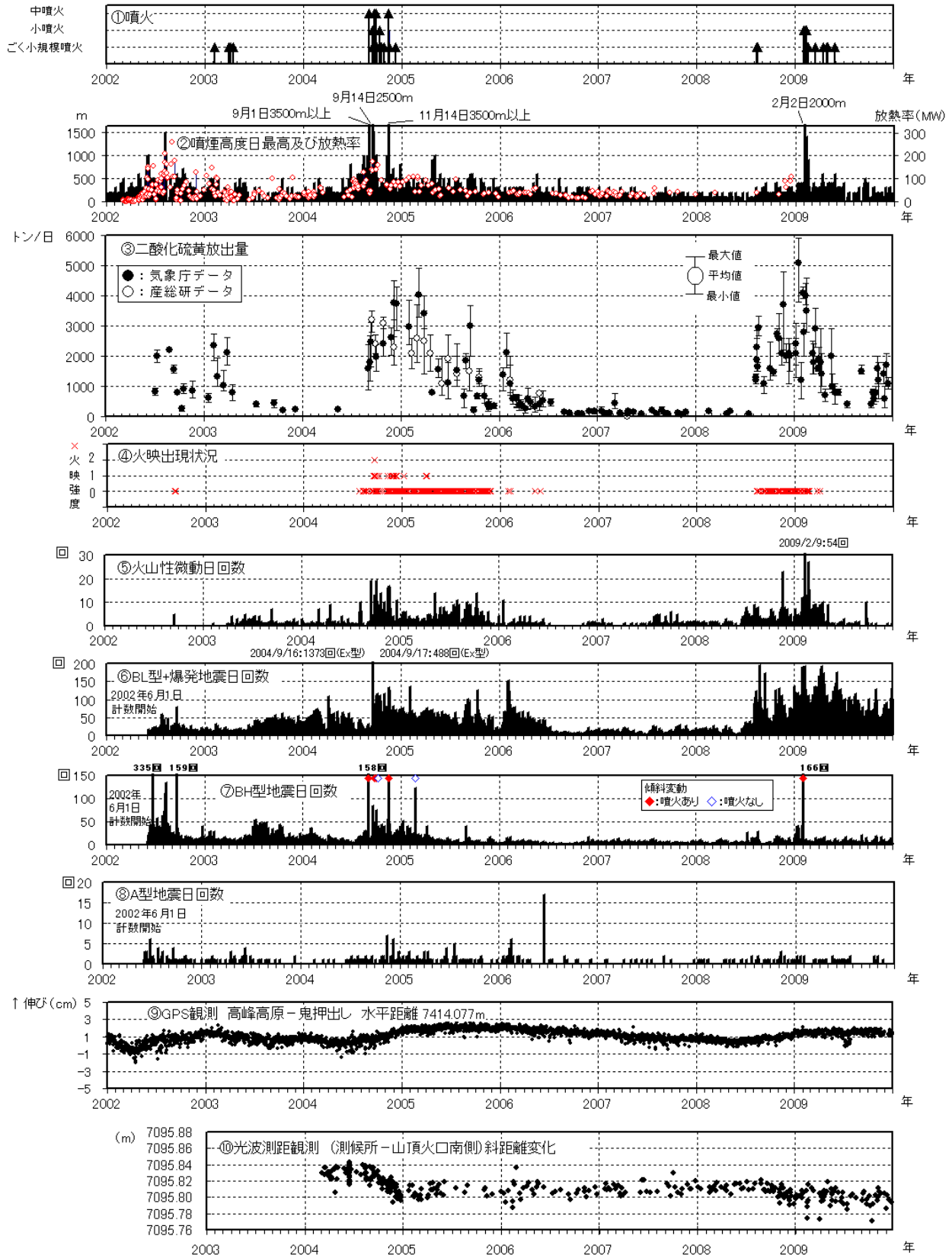
2009年9月14日12時04分 (群馬県の協力による)

2009年11月20日10時52分 (長野県の協力による)

2009年12月10日11時23分 (陸上自衛隊の協力による)

第2図 浅間山 山頂付近の状況と地表面温度分布 (南西側上空から撮影)

Fig.2 Visible and thermal images of summit crater of Asamayama.

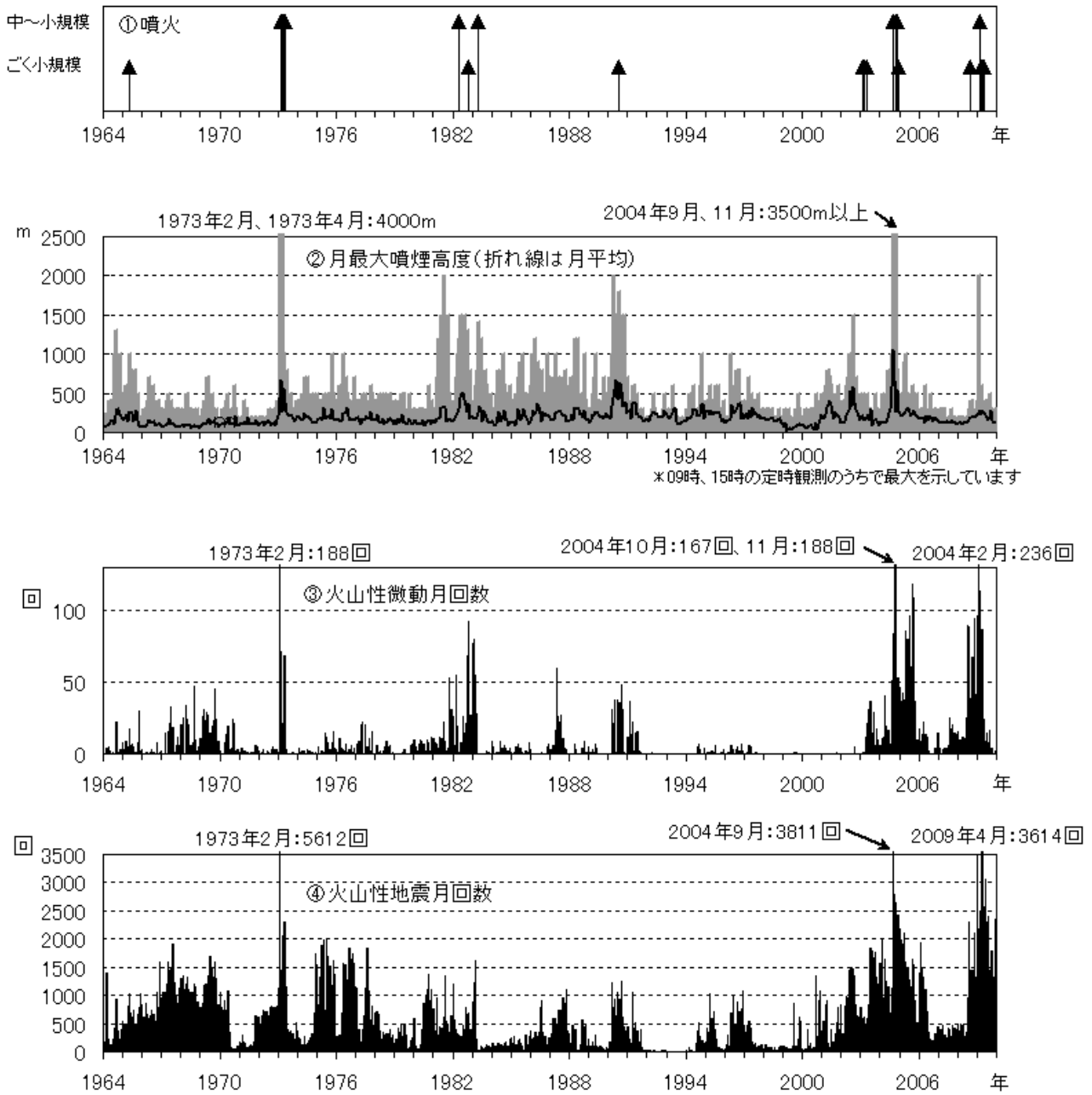


第3図※ 浅間山 最近の火山活動の推移 (2002年1月1日~2009年12月31日)

Fig.3 Volcanic activities of Asamayama from January 2002 to December 2009.

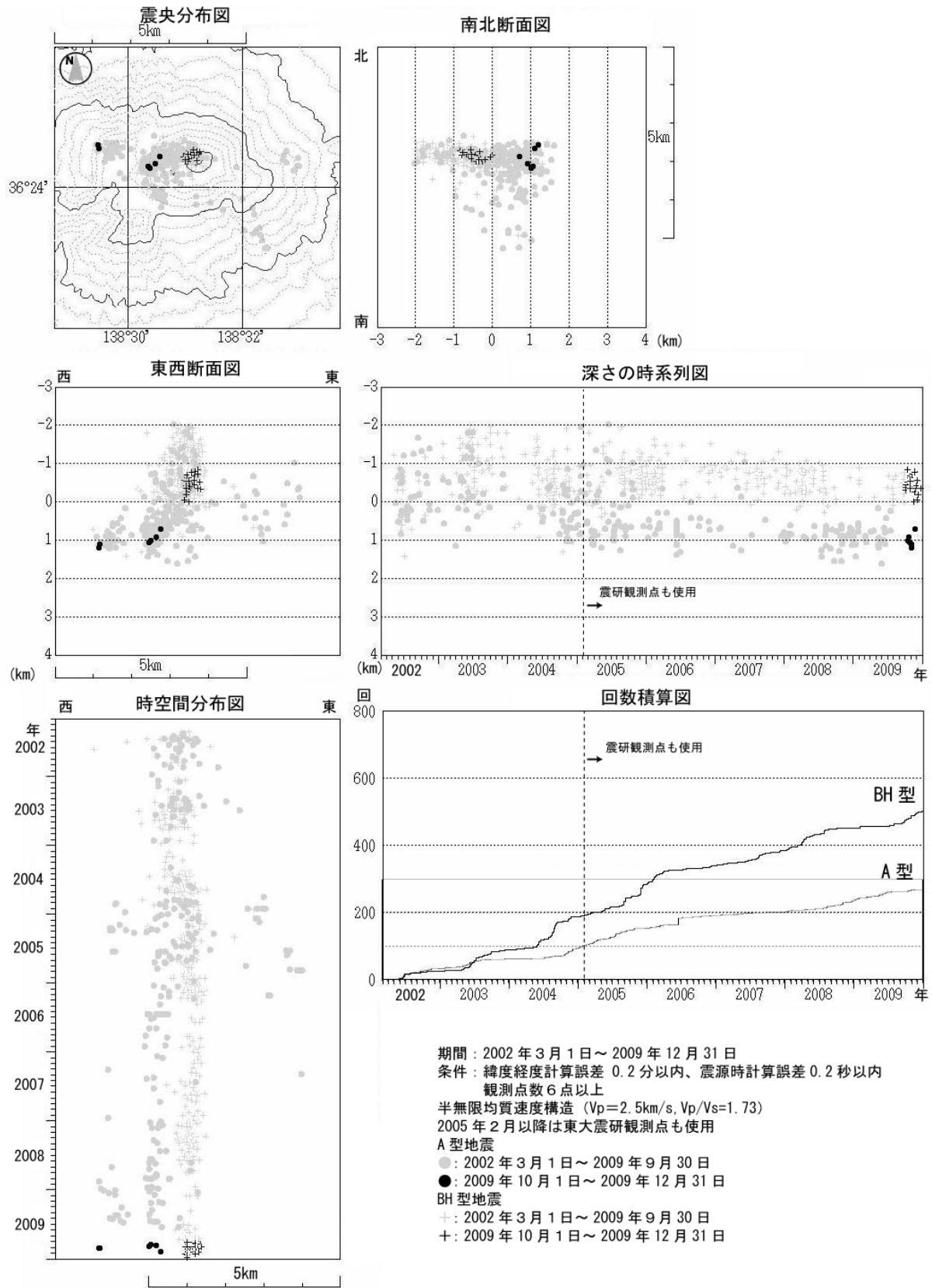
③の二酸化硫黄放出量グラフは産業技術総合研究所のデータも含む

⑩の光波測距観測の測定は浅間山火山防災連絡事務所、補正処理は高木・他, 2010 (印刷中) による
注) 2008年7月より黒斑山の高感度カメラを監視に用いており、火映の検知能力が向上している



第4図 浅間山 長期の火山活動経過図 (1964年1月~2009年12月31日)

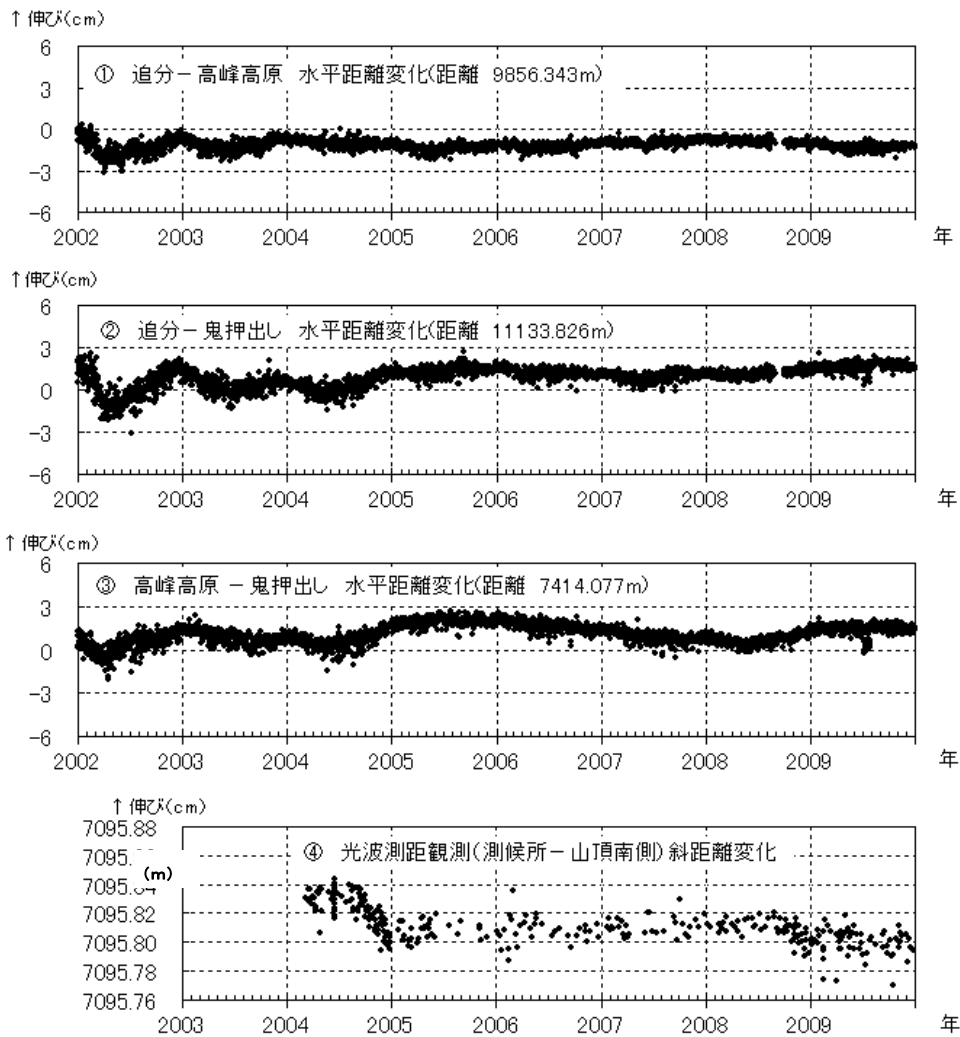
Fig.4 Volcanic activities of Asamayama from January 1964 to December 2009.



第5図※ 浅間山 火山性地震の震源分布

この地図の作成には、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。

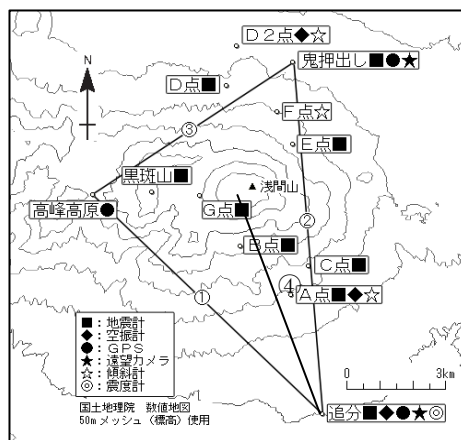
Fig.5 Hypocenter distribution of volcanic earthquakes in Asamayama from March 2002 to December 2009.



第6図 浅間山 GPS連続観測及び光波測距観測の結果 (2002年1月1日～2009年12月31日)
Fig.6 Results of GPS and EDM observations in Asamayama from January 2002 to December 2009.

観測点配置は図9を参照

④の測定は浅間山火山防災連絡事務所、補正処理は高木・他, 2010 (印刷中) による



第7図 浅間山 気象庁の観測配置図

Fig.9 Location map of observation sites of JMA in Asamayama.

この地図の作成には、国土地理院発行の数値地図 50mメッシュ (標高) を使用した。